

## 第2回 加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム全体会 議事要旨（概要）

発言内容	対応（案）
<b>企画案について</b>	
素晴らしい企画が提案されているので、実際に動いてみて、やってみないと、姿が見えない。前向きに取り組めば改善点も見えてくる。	下期は、次年度から動き出す取組について準備を開始。
<b>情報発信の取組について</b>	
まちを活性化するためには、短期でしっかり情報発信することがリーズナブル、かつすぐにできる。	情報発信の取組みについては、全体会の意見を踏まえて検討（いつ、どこで、誰が、誰に など）。  ※全体会では、情報発信に関する意見が多く出たが、情報発信以外の取組みもワーキングで議論。
いつ、どこで、誰が情報発信するのが重要。	
情報発信の目的、目標は、集客のためか、市民の満足度を高めるためか、優先順位を決めることが必要。	
ふるさと納税、定住・移住は、他の自治体との取り合いになる。届けたい人に、届けたい内容を伝えられるかが重要。	
加茂市を選んでくれるように情報発信することが重要。	
情報発信の仕方は、下半期の検討事項。ターゲットをメンバー間で目線合わせすることが必要。	
情報発信を市民に向けるのか、それとも外に向けるのか。加茂の良いところを市民に向けて情報発信すれば、ゆくゆくは市外にも同じことを展開すれば良い。	
<b>取組のターゲットについて</b>	
企画案を整理した資料は、市民向けと、外向け（市民以外）の取組が混在。	取組みの検討を進める際には、ターゲットを明確化。
目標はシビックプライドとっており、ターゲットはまず市民であることを軸にして議論した方が良い。	
市民向けとはいっても、外の人を無視しているわけではない。また、明らかに外向け、つまりお金を落としてほしい取組みもある。どれに該当するのかわかれば良いと思う。	
シビックプライドが高まると観光につながる。	

発言内容	対応（案）
<b>まちづくりの推進について</b>	
財源がポイントで、国の補助金を獲得、活用する組織体が必要。加茂市の観光協会をどのように活用できるかが重要。	まちづくり会社等の組織体のあり方については、加茂市で検討（その状況については、エリプラでも共有）。
都市再生推進法人のような制度を活用して、予算を取りやすくすることもあり得る。	都市再生推進法人認定制度の活用についても加茂市で検討。
情報発信活動を継続的・組織的に担う主体として都市再生推進法人などの活用を考えることも必要。	
<b>エリプラのあり方について</b>	
優先順位を付け、誰が、どこで、何をやるかを明確にし、PDCAをまわしていくことが重要。	エリプラの中で進捗、成果を共有し、フィードバックやアシストを受けながら進めていく。
「やりたい人」と「やってほしい人」をつなげることができるエリアプラットフォームになると良い。若い人から提案を上げて、それを吸い上げるようなエリアプラットフォームになれると良い。	下期では次年度以降のエリプラのワーキングメンバーを含む体制や進め方についても議論を重ねていく。
市民の中で活動したい人は多いと思うので、そういう人々を引っ張り上げていきたい。	
今後は高校生や中学生も含めて、若者が本日のような場に参加できることが大切。	
<b>大学との連携について</b>	
大学の授業の中で「ネタ出し」という形で地域に協力できる。「こういうことを調べてほしい」という依頼であれば、先生方もとっつきやすい。	取組の実施に向けてはデータ収集等の調査が重要であり、大学をはじめエリプラメンバーの皆様と連携しながら進めていく。